

○ 第1学年 全体の傾向および達成率

		国語	社会	数学	理科	英語
R1 (1年次)	目標値	63.8	62.2	67.6	60.9	
	校内平均正答率	71.5	66.4	71.3	63.2	
	市平均正答率	71.8	65.5	72.5	63.3	
	校内平均正答率と市平均正答率の差	△0.3	0.9	△1.2	△0.1	
	校内平均正答率と目標値の差	7.7	4.2	3.7	2.3	
	達成率(宮城野中)	80.0	68.3	69.6	70.1	
	達成率(仙台市)	79.7	67.8	71.5	68.0	

△はマイナスを表します。

○ 第1学年 4教科の結果と今後の取組

国語

分類	区分	目標値	校内平均正答率	市平均正答率
基礎・応用	教科全体	63.8	71.5	71.8
	基礎	64.8	72.2	73.4
	応用	61.7	69.9	68.2
領域	話すこと・聞くこと	77.5	85.7	85.3
	書くこと	63.8	72.1	73.1
	読むこと	65.0	75.6	72.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	58.8	64.4	66.0
観点	国語への関心・意欲・態度	73.3	83.6	84.1
	話す・聞く能力	77.5	85.7	85.3
	書く能力	64.1	72.3	73.4
	読む能力	63.3	72.5	70.2
	言語についての知識・理解・技能	58.8	64.6	66.3
問題の内容	話の内容を聞き取る	77.5	85.7	85.3
	漢字を読む	71.3	85.1	86.2
	漢字を書く	48.8	40.9	44.5
	文法・語句に関する知識	56.3	67.1	67.3
	説明文の内容を読み取る	63.3	78.4	75.9
	文学作品の内容を読み取る	66.7	72.9	69.9
	調べたことをもとに資料を書く	56.7	59.8	59.3
作文	68.0	79.4	81.3	

成果と課題および今後の取組

教科全体と基礎は、市の平均正答率を下回っていたが、応用で市の平均正答率を上回った。

領域・観点別では、「話すこと・聞くこと」と「読むこと」が市の平均を上回っている。市の平均に届かなかった「言語についての知識・理解・技能」を身につけさせ「書く」能力を高めさせたい。そのため、漢字練習や小テスト等を通して、漢字に対する苦手意識を少しでも取り除き、正しく表現できるように作文の力を高めていきたい。

社会

分類	区分	目標値	校内平均正答率	市平均正答率
基礎・応用	教科全体	62.2	66.4	65.5
	基礎	65.8	67.7	67.8
	応用	54.4	63.6	60.5
領域	我が国の歴史	61.8	65.3	64.8
	我が国の政治	62.1	64.3	62.6
	世界の中の日本	67.5	84.8	82.8
観点	社会的事象への関心・意欲・態度	60.4	68.2	65.7
	社会的な思考・判断・表現	56.5	64.2	62.7
	資料活用技能	61.8	67.3	65.0
	社会的事象についての知識・理解	63.9	67.1	66.7
問題の内容	縄文時代～平安時代	60.0	62.1	63.2
	鎌倉時代、室町時代	65.0	63.3	65.1
	安土桃山時代、江戸時代	58.0	56.7	54.1
	明治時代～昭和時代	63.6	74.5	73.1

成果と課題および今後の取組

分類で見ると、教科全体及び応用が目標値と市平均正答率を上回っているのに対し、基礎は市平均正答率をわずかに下回っている。

また、縄文時代から室町時代までの問題で市平均正答率を下回っており、歴史的分野での基礎的・基本的定着が課題であるといえる。

以上のことから、授業で重要語句の小テストを行い、基礎の定着をはかっていくと共に、問題解決学習を取り入れて歴史的分野への関心を高めながら理解力を高めていきたい。

日本の政治	57.5	58.8	56.4
日本国憲法	68.3	71.7	70.8
世界の中の日本	67.5	84.8	82.8

数 学

分類	区分	目標値	校内平均正答率	市平均正答率
基礎・応用	教科全体	67.6	71.3	72.5
	基礎	72.2	73.2	75.6
	応用	57.3	67.0	65.4
領域	数と計算	74.5	73.5	76.2
	量と測定	64.0	71.4	72.0
	図形	65.0	68.8	70.8
	数量関係	65.4	71.0	70.9
観点	数学への関心・意欲・態度	60.8	70.7	69.9
	数学的な見方や考え方	58.6	67.9	66.3
	数学的な技能	69.2	71.2	72.8
	数量や図形などについての知識・理解	69.7	75.0	76.7
問題の内容	小数・分数の計算	75.0	75.2	77.9
	整数の性質	72.5	66.7	69.1
	面積と体積	72.5	77.5	79.0
	単位量あたりの大きさ・平均	58.3	67.3	67.4
	平面図形	65.0	68.8	70.8
	百分率	60.0	67.4	68.0
	場合の数	72.5	71.0	72.2
	比と比例・反比例	63.8	68.5	68.2
	文字と式	75.0	80.6	80.5
	いろいろなグラフの読み取り	61.3	70.4	69.6

成果と課題および今後の取組

「教科全体」では目標値は上回っているものの、1.2ポイントほど市平均よりやや低い。

分類別に見ると、「基礎・応用」での「応用」が目標値と市平均をともに上回っている。一方、「基礎」が市平均より2.4ポイント低い。

領域別では、「数と計算」が市平均よりも2.7ポイント低く、さらに問題の内容別に見ると、「小数・分数の計算」の数値が市平均より2.7ポイント低いことが、基礎の値の低さにつながっていると考える。

今後は、計算練習を行うにあたって、途中の計算過程や思考過程を書いて説明させることを意識させたい。それによって、より正確に計算できることに気付かせていきたい。

理 科

分類	区分	目標値	校内平均正答率	市平均正答率
基礎・応用	教科全体	60.9	63.2	63.3
	基礎	65.7	69.5	69.5
	応用	50.5	49.5	49.6
領域	物質・エネルギー	58.3	61.5	62.4
	生命・地球	62.5	64.3	63.8
観点	自然事象への関心・意欲・態度	53.9	53.9	54.0
	科学的な思考・表現	55.5	56.7	57.1
	観察・実験の技能	68.8	74.9	73.4
	自然事象についての知識・理解	64.4	65.5	65.9
問題の内容	物の燃え方	56.7	55.2	56.1
	動物のからだのつくりとはたらき	61.7	67.8	66.0
	植物のつくりとはたらき	65.0	67.9	67.9
	生物とかんきょう	70.0	69.6	70.4
	月と太陽	58.3	48.4	48.4
	大地のつくりと変化	56.7	61.8	61.2
	てこのはたらき	56.7	57.4	58.7
	水よう液の性質	60.0	65.8	66.3
	電気の利用	60.0	67.6	68.6

成果と課題および今後の取組

全体としては、基礎、応用ともに仙台市の平均とほぼ同じであった。しかし、応用は目標値を下回っているため、基礎を伸ばしつつ、応用力を養う必要がある。

観点別に見ると、観察・実験の技能のみが目標値、仙台市平均ともに上回っており、観察・実験への関心の高さが窺える。観察・実験の見通しを持たせ、実験結果から何が分かるかを丁寧に指導していきたい。

問題の内容別に見ると、1分野(物理・化学)の内容において、正答率が低い傾向が見られた。自然事象を科学的な視点で捉え、比較したり、関連付けたりするなどの科学的に探求する方法を身に付けさせ、理解を深めさせたい。

○ 第1学年 生活・学習状況調査の分析と今後の取組

①全体の傾向
基本的生活習慣について
(1)「学校のきまりを守っている」生徒は、99.1%(仙台市98.5%)おり、規範意識が高いことがうかがえる。 (2)「朝食を食べずに登校する日がある」という質問に対し、「よくある」「時々ある」と答えている生徒が14.7%あり、市の平均を上回っている。1割の生徒が朝食を食べないことは学校生活に影響を及ぼすと考える。 (3)「平日の睡眠時間」が「7時間以上」の生徒が88.4%(仙台市85.2%)であり、規則正しい生活を送っていると言える。 (4)「携帯電話・スマホを持っていない生徒は27.6%(仙台市29.3%)」携帯電話・スマホなどの使い方の約束についてを家の人と話し合っている生徒は、「どちらかといえば話し合っている」も含め、全体の68.5%(仙台市66.2%)である。また、「話し合った約束を守っている」生徒は、61.3%(仙台市59.7%)である。 (5)「LINEなどの通信アプリを1日どのくらい使っていますか」の質問に対しては、1時間以上使っているのが18.6%(仙台市22.2%)、1時間より少ないが35.6%(31.9%)、全く使わないが14.7%(14.8%)、携帯、スマホを持っていないが30.7%(仙台市30.7%)という結果であった。 (6)「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う」と回答している生徒は、89.3%である。 (7)「友達に会えるから毎日学校に行きたくなる」「学級には信頼できる友達がいる」と回答している生徒は、いずれも「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」が合わせて90.7%(仙台市92.9%)おり、仙台市の平均を若干下回っている。 (8)「学級には信頼できる友達がいる」生徒は、94.2%(仙台市94.8%)であるが、「学級では、自分のよいところを認めてもらっている」生徒が76.9%(仙台市81.7%)であり、仙台市の平均から4.8%も下回っている。
学習面について
(1)「ふだん(月曜から金曜)、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか」という質問に対しては「1時間以上」である生徒が50.7%であり、(仙台市48.9%)の平均を上回っている。 (2)「ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」と感じている生徒は、88.4%(仙台市88.1%)いるが、「授業中、先生の説明や友達の発表に疑問を持った時、進んで質問できる」生徒は、52.9%(仙台市49.6%)であった。質問しやすい雰囲気をつくることと同時に能動的な態度の育成に努めていく。 (3)「勉強をとおして、新しいことが分かるようになるのは、楽しい」と答えた生徒は91.1%で(仙台市89.6%)仙台市の平均より高かった。 (4)「勉強中に携帯電話やスマホなどで次のアプリ等を使うことがありますか」の問いには、LINEなどの通信アプリが23.6%(仙台市31.0%)、動画については38.2%(仙台市36.2%)、ゲームについては24.9%(仙台市25.7%)、音楽が46.2%(仙台市43.1%)となっており、勉強中の使用については今後考えていかなくていけないと強く感じる。 (5)「将来の夢や目標を持っている」生徒は83.6%(仙台市85.4%)、「自分の夢をかなえるために、たくさん勉強する」生徒は84%(仙台市88.1%)と仙台市の平均より下回っている。 (6)「学校の授業の予習をしている」生徒は48.9%(仙台市56.6%)平均を下回っている。「復習をしている」についても66.2%(仙台市71.4%)下回っている。予習・復習の大切さを教えていきたい。
②課題および今後の取組
【課題】 (1)基本的生活習慣について ○朝食について、14%の生徒が取れていない。 ○「携帯電話・スマホの使い方について、家族と約束したり、話し合ったりしている生徒」は68%に過ぎない。 (2)学習面について ○「夢をかなえるためにたくさん勉強する」と考えている生徒が仙台市平均を下回っている。 ○「予習をしている生徒」「復習をしている生徒」ともに仙台市平均を下回っている。 ○「授業中、先生の説明や友達の発表に疑問を持った時、進んで質問できる」と答えた生徒が53.3%しかいない。 ○家庭学習で勉強中に携帯やスマホを使っていること。 【今後の取組】 (1)基本的生活習慣について ○早寝、早起き、朝ご飯は1日のリズムをつくる上で重要であることを、家庭と協力しながら指導する。 ○携帯やスマホの使用については、これからも学年や学校全体でも集会を持って注意喚起していく。所持については家庭での判断となるので、使用の目的や約束の確認をお願いしたい。 ○生徒だけでなく、保護者への啓蒙活動を積極的に行う。 (2)学習面について ○総合的な学習の時間に進路学習を進めている。夢や目標をしっかりと持たせられるようにしていきたい。家庭でも将来の夢や目標など話題にいただき、協力しながら進めていく。 ○学んだことを定着させる上で家庭学習での予習・復習の大切にしていけるよう、各教科で、予習・復習の学習方法を徹底していく。 ○勉強中の携帯・スマホの使用については基本的生活習慣同様、使用の目的や約束を今一度本人と確認し、安全な使用を心掛けさせる。